

2019年3月25日

No. 48

発行 / 県民クラブ
連絡先 / 大分県議会
大分市大手町 ☎(097)536-1111(代)
<http://www.oct-net.ne.jp/shakai-1/>



県民ひろば

新たな時代に向けて、県政の 更なる飛躍を期待

県民クラブ 久原 和弘



大分平成の塔

私の6期24年間にわたる議員活動を振り返るため、過去の一般質問と代表質問を読み直してみました。

私の政治との関わりは労働運動から出発していますので、24回のうち労働行政について12回、提起していました。

その大半は、労働者の70%以上が未組織労働者であるため、その労働者の権利の確立、そのためにも「大分ふれあいユニオン」の存在意義を認め、県としてその支援を求めるものとした。

今回最後の一般質問では、何度も取り上げてきた少子高齢化と人口減少社会の問題について知事の考えを問いました。

予てから、止まらないものを無理に止めようとするのではなく、被害を最小化する「どうやって負け幅を小さくするか」という後退戦のための最善策を考えることが肝心ではないかと、提言してきました。

現在、問題となっているのが人手不足です。産業界は労働力を外国人労働者やAIに頼ることで良としています。

しかし、外国人労働者やAIだけでは、地域の活力は生まれません。AIは作業する労働力であっても、物を作り、売り、それを購入・消費し、また作るという経済活動を循環させることもできなければ、伝統のお祭りを継続し、地域の文化を守っていくことなどもできません。

集落を維持・継続させていくためには、そこで日常生活を営む人たちが必要だという事を忘れてはなりません。

統一地方選挙を通じて新たな県議会が構成され、直

後の4月末には平成の時代に終止符が打たれ、新しい時代が始まります。

その新たな時代に向け、ふるさと大分の県政が更大きく飛躍するよう期待します。

思えば、平成7年に48歳で初登壇して以降、県議会の末席を務め、現在は72歳になりました。

今後は、知事の言う「年寄りのかわいげ」を大切にしたいと思います。

本当に長い間大変お世話になりました。心を込めてお礼を申し上げます。